



<学校教育目標>
心も体も元気な岡村っ子

おもいやりをもち、
かがやく自分を求めて、
むちゅうになって共に学び
みらいを創っていく子

平成28年2月29日
横浜市立岡村小学校
学校だより



学校ホームページURL <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/okamura/>

“いまこそ(4年に1度) 成長のチャンス”

副校長 加藤 雅司

春節を迎えた頃より、つぼみを徐々に膨らませてきた桜。
夕刻、すそ野まで雪をまとった夕焼けに浮かぶ富士。
どちらも、本校の校舎より見ることができる素敵な風景です。

学校便り配布の本日。4年に一度に加わる閏日です。閏日(うるうび、じゅんじつ)とは、太陽暦において暦と季節(天動説では太陽の運行)のずれを補正する暦日のことです。通常、閏年は平年より暦日または暦月が1つ多いです。その余分な日・月を閏日・閏月、総称して閏と呼び、暦と太陽または月の運行(太陽の運行は季節の移り変わりを、月の運行は月相を決める)とのずれを合わせるため入れられるそうです。

今月2月6日(土)に横浜スタジアムにて、市立小学校タグラグビー交流会が行われました。本校5年生・6年生の代表が、寒さをもものもしない気持ちで、力いっぱい動いていました。本年度、話題が沸騰しているラグビー。タグラグビーは、そのラグビー強豪国の一つであるニュージーランドで行われているスキルアップ(タスク)ゲームの一つが競技として取り上げられ、日本に普及した日本独特の競技でもあります。

当日、レフリーをしている傍ら、多くの同僚の方々と言葉を交わす機会がありました。口々に話される内容には、「運動量が多くていいですね。」「男女ルールの違いなく同じフィールドで動ける。」という内容が多かったです。

本校の各チームの児童も、運動の特性を十分に味わいながら、好成績で終えることができました。応援に足を運んでくださった保護者の皆様に、感謝申し上げます。

さて、話は大きく変わりますが、先日、「ブリキのおもちゃ博物館」設立で著名な北原照久氏の講演を聴く機会がありました。終始一貫して話された内容は、「言葉」についてでした。その中で強く印象に残ったことが2点ありました。



まず1点は、「【自分の言葉を最初に聞くのは自分】声に発すると同時に、その音は自身の体に伝わるということでした。であるならば、前向きなよい言葉を発することが大切ではないでしょうか。」ということです。その意味で、清々しい、元気のよい挨拶は、1日を創るうえでとても大切な言葉と話されていました。

2点目は、「【未来は話した言葉でつくられる】」ということです。ご自身のなかでは、「自分については」ということを常に思い描いているので、一般的に負の要素と思う出来事が生じても、チャンスととらえ、言葉にすることです。

3月、一人ひとりが次の舞台に向け準備をする時期です。この1年間を振り返りながら、新たなスタートを切るとき、自身の成長願って【話した言葉で未来をつくってみる】ことを心掛けてみてはいかがでしょうか。